

○事務担当者会議

4月22日、平成23年度事務担当者会議が、東京都・ルポール麹町を会場に、39都道府県、45名の出席者を得て開催された。

会議に先立ち、3月11日に発生した、東日本大震災により亡くなられた方々に黙祷が捧げられた。

会議となり、来賓の藤野公之文部科学省生涯学習推進課長、役員の中村徹全専各連副会長・専教振副理事長があいさつを述べた。

次に、圓入由美文部科学省専修学校教育振興室長が来賓あいさつを兼ねて、配布資料に基づき、専修学校教育の振興方策等に関する調査研究報告(概要)、東日本大震災後の専修学校の被害状況と課題、東日本大震災関係予算(専修学校各種学校関係)、専修学校生徒による被災者支援による係るボランティア活動について説明を行った。

引き続き、東日本大震災への対応状況について、岩手県、宮城県、福島県専各より報告が行われた後、事務局が配布資料に基づき、全専各連関連として①全専各連第112回理事会報告、②第60回定例総会・第113回理事会、③会費の取り扱い、④広報活動等について説明を行った。

小憩後、専教振関連として①専教振第104回理事会・第72回評議員会報告、②保険事業等、③新任教員研修・教員認定、④キャリア・サポート関連事業、④教職員・学生生徒表彰、⑤全国専修学校総覧の刊行、⑥公益法人制度改革への対応⑦検定事業等について説明を行った。

会議終了後、懇親会が行われ全日程を終了した。